

## 執 筆 要 領

- 1 論文等（原著，資料，展望及び文献紹介）の内容は未公開のものに限る。
- 2 論文等の作成に当たっては，研究者又は専門職としての責任を自覚するとともに，関係法令，研究倫理及び社会的倫理に則って，基本的人権を尊重し福祉増進に貢献することを目指す。  
なお、研究倫理については、日本犯罪心理学会倫理綱領及び公益社団法人日本心理学会倫理規程に準拠する。
- 3 原著は，犯罪心理学に関する調査・実験・事例研究を内容とし，原則として，①問題及び研究史，②方法，③結果，④考察，⑤引用文献の各部分から成り立ち，十分な理論的考察を備えた論文であることが望ましい。また，犯罪心理学の基本命題に関する理論的考究又は提言も原著として採用することができる。
- 4 資料は，原著に準じた調査・実験（追試を含む。）・事例報告を内容とする論文である。
- 5 展望は，犯罪心理学の諸領域における重要な問題についての内外諸研究の総合的概観，解説及び動向を主たる内容とする論文である。
- 6 文献紹介は，最近発表された著書等の内容の概要，かなり長期間にわたる系統的な文献目録等を内容とする。
- 7 学界情報及び会務報告は，それぞれ，関連諸学会・学術団体・研究機関等の活動状況に関する情報及び本会の活動・運営等に関する情報であるが，これらは，別途事務局からの広報に掲載することがある。
- 8 論文等は，日本語又は英語とする。
- 9 日本文の論文等の型式は，次のとおりとする。
  - a 論文等の長さは，表題，著者名，所属機関名，英文抄録，本文，表，図などすべてを含めて本誌 13 頁（約 21,000 字）までとする。
  - b 本文は，左横書き（横 22 文字×縦 37 行）とする。
  - c 文章は，常用漢字，現代仮名遣いを用いる。
- 10 英文の論文等の形式は，上記 9 に準じ，本誌 13 頁（約 11,000 語）までとする。
- 11 原稿の内容は，分かりやすくはっきりと表現する。表，図等は必要最小限度において使用し，本文との無意味な重複を避ける。
- 12 原稿の第 1 枚目には論文等の種類，題目（副題を含む。），著者の所属機関及び氏名（ふりがなを付する。）を明記し，本文は第 2 枚目から書き始める。原稿には第 1 枚目から通しページを付ける。
- 13 論文等には，英文の題目，所属機関を原稿の 1 枚目下部に記す。  
なお，原著，資料及び展望には，英文 200 語以内の抄録を付ける。
- 14 英文抄録の作成に当たっては，
  - a 邦訳を添えること。
  - b 熟達した人の翻訳であるか，またはその校閲を経ていること。
- 15 英文の論文等は，英語を母語等とする専門家による責任ある校閲を受け，その証明書を添付する。
- 16 論文には，分類・検索のためのキーワードを日本語及び英語で 3 項目ないし 7 項目記す。
- 17 日本文の論文等では，外国人名・地名等固有名詞に原語を用いるほかは，なるべく日本語を使用し，必要な場合は，初出の際だけ括弧内に原語を付する。
- 18 数字は，アラビア数字を使用する。

- 19 脚注は、本文内容の補足説明に当て、通し番号を付ける。
- 20 引用文献は、論文等の最後にアルファベット順に一括して掲載することとし、本文中には「著者名（発表年）」の形式で記載し、肩に数字を付さない。同一著者の同一年中の文献については、発表順に a・b……を発表年の後に付する。
- 21 引用文献の表示は、次のとおりとする。DOI (Digital Object Identifier) を含めることを推奨する。
- a 雑誌の場合、著者名・(発表年)・題目・雑誌名・巻号数・論文所在頁・DOI の順とする。
- (例 1) 遠藤辰雄 (1963). 犯罪心理学研究の現状 犯罪心理学研究, 1(1), 1-7.
- (例 2) Wasserstein, R. L., & Lazar, N. A. (2016). The ASA's statement on p-values: context, process, and purpose. *The American Statistician*, 70(2), 129-133.  
<https://doi.org/10.1080/00031305.2016.1154108>
- b 単行本の場合、著者名・(発表年)・書名・発行所の順とし、翻訳の場合は原語によるもののほか、末尾に(原著者名・訳者名・発行年・書名・発行所)を付する。
- (例 1) 水島恵一 (1962). 非行臨床心理学 新書館
- (例 2) Bennett, I. (1960). *Delinquent and Neurotic Children*. Tavistock Publishers.
- (例 3) Tyler, L. E. (1963). *Tests and Measurements*. Prentice-Hall.  
(タイラー, L. E., 高田洋一郎 (訳) (1968). テストと測定 岩波書店)
- c 単行本の特定の章を引用する場合、著者名・(発行年)・表題・編集者名・書名・引用ページ・発行所の順とする。
- (例 1) 早樫一男 (1998). 児童相談所における家族療法の活用 生島 浩・村松 励 (編) 非行臨床の実践 (pp. 145-159) 金剛出版
- (例 2) Enns, J. T., Visser, T. A. W., Kawahara, J., & Di Lollo, V. (2001). Visual masking and task switching in the attentional blink. In K. Shapiro (Ed.) *The Limits of Attention: Temporal Constraints in Human Information Processing* (pp. 65-81). Oxford University Press.
- d オンライン資料の場合、著者名・(公開年)・表題・ウェブサイト名・Retrieved アクセス年月日 from URL・DOI の順とする。
- (例 1) 文部科学省 (2010). 平成 21 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」について 平成 21 年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」結果(暴力, いじめ, 高等学校不登校等)について Retrieved March 5, 2011 from  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/22/09/1297352.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/09/1297352.htm)
- (例 2) McCord, J. (1991). *Family Relationships, Juvenile Delinquency, and Adult Criminality*. Wiley Online Library. Retrieved October 29, 2015 from <http://sites.psu.edu/scoratti/wp-content/upload/sites/975/2013/04/article-on-family.pdf> <http://doi.org/10.1111/j.1745-9125.1991.tb01072.x>
- 22 表, 図は, 必ず別紙とし, 掲載箇所を本文中に分かりやすく記す。  
なお, 表, 図を印刷する場合, 紙面の一部分又は大部分を要するので, これに相当する字数を論文等の全字数のうちに含める。
- 23 表, 図の原稿は, 明瞭に表記し, なるべくそのまま写真製版できるように作成する。  
なお, 表, 図, 写真等の製版のため特別に費用を要する場合(例えばカラー印刷など)は, 執筆者の負担とすることがある。
- 24 表, 図は, 上部に Table 1, Figure 1 のように左揃えで記し, 通し番号とする。

- 25 校正は、編集委員会の責任において行う。
- 26 投稿された論文等については、その内容が各専門領域の研究者の検討に値する学術的価値を持つか、また、読者に的確に伝わるように表現されているかを基準に、編集委員会で掲載の可否が決定される。ただし、掲載された論文等の内容についての責任は、著者が負う。
- 27 本誌に掲載された論文等の著作権は、日本犯罪心理学会に帰属する。
- 28 本要領に明記されていない点については、事務局に問い合わせるか、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき」を参照する。
- 29 原稿を送付する場合は、事前に論文内容等について別途「日本犯罪心理学会投稿論文のための事前点検表」に基づき点検し、同事前点検表を原稿とともに送付する。
- 30 原稿は、原則として、同原稿を PDF 化した電子ファイルを日本犯罪心理学会あてメール添付して送信する。ただし、印刷したものを郵送する投稿形式も可とする。

---

注. 1975. 11. 10 全面改正 1984. 3. 21 一部改正 1988. 3. 8 一部改正 1991. 10. 5 一部改正 1994. 2. 14 付加  
1996. 10. 6 一部改正 2011. 12. 12 一部改正 2017. 1. 26 一部改正 2019. 8. 30 付加 2023. 9. 23 付加, 一部改正